

動作環境

サーバー環境

- **対応OS** ※Microsoft .NET Framework 1.1 SP1以上の環境が必要です
Microsoft Windows 2000 Server
Microsoft Windows Server 2003
- **対応データベース** ※各データベースへの接続には対応するODBCドライバが必要です
Microsoft SQL Server 2000 / 2005
Oracle 8i / 9i / 10g
Oracle 7 *1
IBM DB2 Universal Database 8.1
IBM iSeries (AS/400) *1
Sybase Adaptive Server Enterprise 12
Symfoware Server V6.0
Symfoware6000
PowerGres Plus V1.0
PostgreSQL
MySQL
Cache 5
Microsoft Excel
Microsoft Access
FileMaker Pro 7
メインフレーム *2
OS/390
z/OS
IMS/DB (参照のみ)
ADABAS
VSAM (参照のみ)
その他ODBCドライバ経由で接続可能なデータベース
(詳細はお問い合わせください)
*1: 接続にはODBCドライバオプションが必要です。
*2: 接続にはメインフレーム接続オプションが必要です。
- **ハードウェアスペック** ※必要スペックはシステム環境によって異なる場合があります
CPU: PentiumIII 800MHz以上 (推奨Pentium4 1.4GHz以上)
HDD: 30MB以上の空き容量
メモリ: 256MB以上 (推奨1GB以上)

クライアント環境

- **対応OS** ※Microsoft .NET Framework 1.1 SP1以上の環境が必要です
Microsoft Windows 2000 Professional
Microsoft Windows XP Professional
Microsoft Windows 2000 Server
Microsoft Windows Server 2003
- **ハードウェアスペック** ※必要スペックはシステム環境によって異なる場合があります
CPU: PentiumIII 800MHz以上
HDD: 10MB以上の空き容量
メモリ: 256MB以上

ライセンス

InfoUnity® **MONO**のライセンスは、サーバーに搭載されているCPU数を基準とし、クライアント数は無制限の「プロセッサライセンス」と、1つのサーバーにアクセスを行うクライアント数を基準とする「サーバーライセンス」の2つのラインナップをご用意。
お客様のご利用状況・導入規模に合わせて、最適なライセンスをお選びいただけます。

プロセッサライセンス

- Webベースのシステムに最適な、クライアント数無制限のライセンスです。
- サーバーに搭載されている物理CPUごとにライセンスが必要
 - アクセスを行うクライアント数は制限なし

標準価格 **200**万円/1ライセンス(税別)

サーバーライセンス

- 小・中規模での導入に最適な、費用対効果に優れたライセンスです。
- 1つのサーバーにアクセスを行うクライアントごとにライセンスが必要
 - サーバーに搭載されている物理CPU数は制限なし

標準価格 **98**万円/1ライセンス(10クライアントライセンス付、税別)

保守サービス

InfoUnity® **MONO**をいつまでも安心してご使用いただくための保守サービスメニューです。

契約期間は1年単位で、以下の3つのサービスをご利用いただけます。

アップグレードパス

InfoUnityシリーズの上位製品へ乗り換える場合にご利用いただけます。
お支払いいただくのは<上位製品の価格>から<すでにご購入いただいたライセンスの価格>を引いた差額となりますので、既存のライセンスを無駄にすることなく、ご予算を有効に活用することができます。

ヘルプデスク

製品についてのご質問・ご相談をメールで迅速に対応いたします。また保守サービス専用Web「InfoUnityサポートサイト」をご用意。リリース&アップデート情報やバグ情報、技術情報、ダウンロードなど、お客様ごとに必要な情報をタイムリーにご提供します。

バージョンアップ

保守サービスの有効期間中であれば、製品のバージョンアップが無償・無制限。InfoUnityを常に最新・最適な状態でご使用いただくことができます。

- 価格は別途お問い合わせください。
- 以下のサービスは保守サービス契約には含まれません。
 - ・オンサイト(お客様先など)での作業
 - ・弊社よりご購入いただいた製品以外のお問い合わせ
- バージョンアップによる製品のご提供は別途有償になる場合がございます。

- 本カタログに記載の内容は、2006年8月現在のものです。なお内容は予告なく変更する場合があります。
- 本カタログに記載の各社社名、製品名、ロゴデザインは、各社の登録商標あるいは商標です。



イズ・コミュニケーションズ株式会社

www.i-ze.com

〒106-0047
東京都港区南麻布2-12-7 南麻布TMDビル4F
TEL: 03-5427-5977 FAX: 03-5427-5832
E-mail: info@i-ze.com

ご購入に関するお問い合わせは



イズ・コミュニケーションズ株式会社

アクセスコントロール/ログ管理機能を備えた
情報資産運用ソフトウェア

InfoUnity
MONO

社内に蓄積された貴重な情報資産を

もっと自由に、誰でも簡単に、より安全に利用する。



InfoUnity[®] MONOは、今まで情報利用の大きな障壁となっていた部門・場所・システムの違いを乗り越え、社内に蓄積されている貴重な情報資産を誰もが自由に、そして安全に利用できる「情報資産運用基盤」を構築する製品です。データの实体は既存もしくは新規のデータベースに存在するデータを使用するため、InfoUnity[®] MONOは実データを保持せず、仮想RDBMSとして動作することが可能となっています。またデータソースが存在する既存のシステムには一切変更を加えず運用することが可能です。

InfoUnity[®] MONOを利用することにより、アプリケーションはその背後にあるデータソースの实体を意識することなくデータを透過的に利用することが可能となります。そのため、従来の手法に比べて分散データを利用するアプリケーションの開発を容易に実現します。

また、InfoUnity[®] MONO上に登録されたオブジェクトに対してユーザ/グループ単位でのアクセス制御機能も提供しており、すべてのアクセスに関するIPアドレス、ユーザID、発行されたSQLなどをアクセスログに記録することができるため、不正アクセスの抑止と、万一の際の迅速な対応が可能となります。

Accessibility

データベースの違いを意識せずひとつのDBとして利用可能

■ 分散する異種DBに対して一元的なアクセスを提供

InfoUnity[®] MONOは、散在する異種データベースに対する一元的なアクセスを提供します。InfoUnity[®] MONOを利用することにより、ユーザは個々のデータベースの場所やベンダ・バージョンの違いなどを意識することなく、あたかもひとつのデータベースであるかのように簡単にデータを取得することが可能となります。対応データソースはOracle、SQL Server、DB2などのRDBMSをはじめExcelやAccessなど、ODBCドライバ経由で接続可能なデータソースであれば利用することができます。アプリケーションからInfoUnity[®] MONOへはADO.netまたはODBCにて接続することができるので、パッケージアプリケーションから、またはアプリケーション開発を行う際にも接続が容易で、データ利用の幅が広がります。

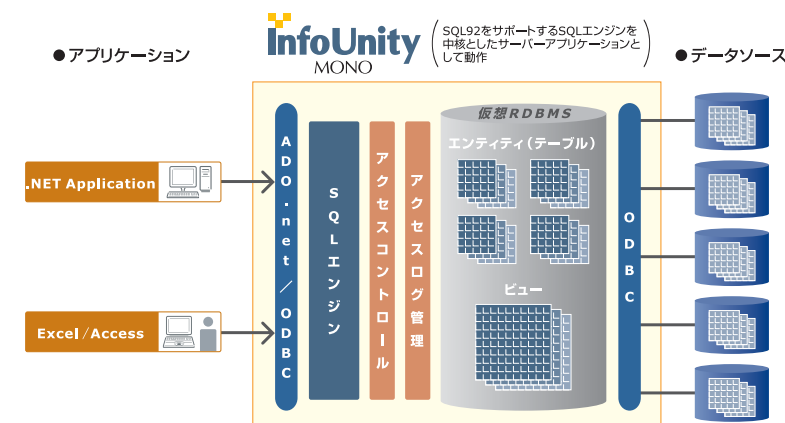


● 例え情報が異種・分散したデータベースに蓄積されていても、ユーザはそれを意識することなく必要な情報に一元的にアクセスすることができる

■ 既存DBをそのままにデータを仮想的に統合

InfoUnity[®] MONOは実データを持たず、データを仮想的に統合するため、接続するデータソースには一切変更を加える必要がありません。InfoUnity[®] MONOはデータソースへの接続やテーブル/ビューの設定をはじめ、動作に必要な設定はすべてウィザード形式で行うことができるため、特別な知識や新たなスキルの修得は不要です。また設定の変更も容易に行えるため、業務内容の変化に伴うシステムの更新/変更にも柔軟に対応でき、システムの運用管理にかかる時間・手間・コストの大幅な削減に貢献します。

▶ InfoUnity MONOアーキテクチャ

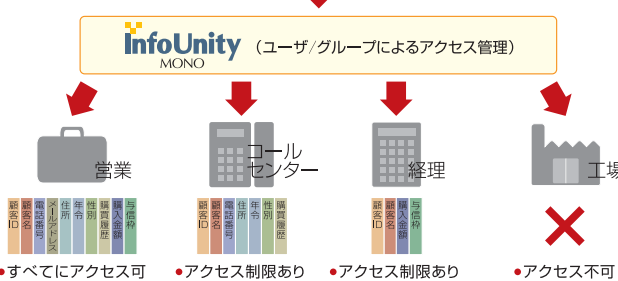
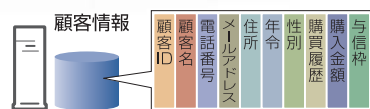


Security

データベースへのアクセスを集中管理しログとして記録

■ ユーザ/グループ単位でのアクセスコントロール

InfoUnity[®] MONOはユーザまたはグループによるアクセス管理機能を備えています。予めInfoUnity[®] MONOにユーザーを登録し、ユーザまたはグループ単位で接続先データ(ビュー、エンティティ)およびアクセス権限(参照のみ/参照、更新、削除可能)を設定することにより、ユーザごとに利用可能なデータセットが提供されます。アクセス権限のないデータは一切表示されず、またアクセス権限がある場合でもデータソースに関する情報は取得できないため、不正アクセスの防止と情報利用の利便性向上を実現することが可能です。



■ ユーザからのすべてのアクセスを記録

InfoUnity[®] MONOはユーザからのすべてのアクセスを記録し、ログファイルとして保存する機能を備えています。データベースごとにログを参照しなければならない場合と比べ、個々のデータベースに関する専門的知識を必要とせず、一元的にログを管理することが可能です。

【主な記録データ】

- ログイン/ログアウト時間
- クライアントのIPアドレス
- 使用されたユーザID
- 発行されたSQL (SQL文をそのまま記録)
- 認証エラー (ログイン失敗)
- パラメータクエリの引数の値
- その他のエラー 等

▶ ログ参照ツール「InfoUnity LogViewer」画面例



Usability

誰にでも簡単・自由なデータ利用を促進

■ 簡単・自由なデータ利用を促進

InfoUnity[®] MONOを利用することにより、日頃使い慣れているExcelからOracleやSQL Serverなどのデータを簡単に利用することが可能になります。InfoUnity Viewer for Excel (オプション)をクライアントPCにインストールすることにより、Excelのメニューに「InfoUnity」が追加されます。設定はすべてGUIで行えることはもちろん、データの結合や抽出条件の設定、取得件数の確認も簡単に行えます。また提供されるデータセットはInfoUnity[®] MONOによってユーザ/グループごとにきめ細かいアクセスコントロールが可能。RDBMSに関する専門知識や高度なスキルを一切必要としないため、ユーザ自らがいつでも簡単・自由にデータを取得し、利用できる環境が容易に実現します。

■ 運用開始後のDBの変更に柔軟に対応

新たにDBを追加する場合、元のDBに対して新たな設定や追加のインストール等を行わず、InfoUnity[®] MONOの設定だけで簡単にデータを利用することができます。また既存のDBを統合する場合でも、使用しているアプリケーションに変更を加えることなく統合を行うことが可能です。

▶ アドインツール「InfoUnity Viewer for Excel」画面例

